



大阪部会(第 20 回)

日 時: 2010 年 9 月 25 日(土) 18:00~20:00

場 所: 同志社大学 大阪サテライト

【内容要旨】

第 20 回の大阪部会は 18 名の参加者で開かれた。うち 3 名は、経済教育学会に参加するために関西を訪れていた東京、千葉、神奈川の当ネットワーク会員の初参加であった。

- (1) まず初めに、経済教育ネットワークの篠原総一代表から、12 月 4 日(土)に同志社大学で開催される年次大会の予定が紹介された。地主神戸大学教授の講演、「効率と公正」をテーマにしたシンポジウムなどが行われる予定である。
- (2) 今夏に当ネットワークの主催または協力で実施された講演会などの報告が、篠原代表よりあった。金融倫理に関する研究会、全公社研での報告、コマナー教授講演会などである。
- (3) 今後開催予定のワークショップが発表された。11 月福井、1 月福岡、2 月札幌などが今のところ予定されている。
- (4) 経済広報センターと協力して開発した教材などの改善方向が示された。
- (5) やや遅れて出席した新井明氏(都立小石川中等教育学校)から、8 月に東京証券取引所と共催した「先生のための夏休み経済教室」(名古屋, 札幌, 大阪, 東京)についての報告があった。内容, 出席者数, アンケート結果などから, 今年度経済教室の充実ぶりが伝えられた。
- (6) 新井氏, 西村理氏(同志社大学)から, 2010 年度入試問題を使った今年度入試問題プロジェクトの進め方が提案された。協力者の増強や, 「良い」入試問題例や良い問題への改善方向の提示が計画されている。
- (7) 当ネットワークのメンバーが開発した学研『ゲームで学ぶ経済のしくみ』から, 税金と財政に関する「市議会予算配分ゲーム」を取り上げ, 担当の奥田修一郎氏(狭山市立南中学校)の指導で, 参加者全員がゲームを体験し, 意見交換をした。非常によくできた教材との評価が多かったが, ゲームにおける支出項目の偏りと, 現実の財政支出の多様さとの関係を説明することなどが課題として指摘された。
- (8) その他, 松井克行氏(三島高等学校)より, 部会翌日の経済教育学会で報告する「中学・高校の社会科・公民科で直接金融, 間接金融をどう扱うべきか?」の内容紹介があった。

(文責 野間敏克)

次回開催予定: 12 月 25 日(土)16:00~18:00 同志社大学大阪サテライト